

△第一回執行委員の結果、常任厄の如く決定

政治部長	中 屋 敏 雄
組織部長	土 屋 棟 八
財務部長	松 本 勇 吉
争議部長	田 村 正 成

△争議部 報告

年をかまねるに從つて、百姓の窮乏は一層ひどく進つてきた、それにより、昨年の如く、地力の取上げは一層多くなつて来た、窮乏恐慌の嵐の中にある地主の政勢は急激に、物々しく、露骨に暴力的だ、裁判所、官犬、一切の反動勢力の露骨な反動的暴力的な加増、これより政勢を前へ進め、その戦いの善い中に決起委員長、米田争議部長の——キ術者米田は極度の火不定の中にあつて、各地に激化した争議を指導し、相対的効果をおさめれば、全部を報告する事は至難なもので、尤も特徴的な争議のみを報告す。

一、日高地区 争議

(1) 日高地区では、昭和四年末、日高地主協会との戦いをつづけてきたが、昭和七年一月、日

姓の本当の苦しみを知らぬ、資本家地主のための裁判所の工コヒキの強制和解よりも不利な条件を強制されたが、組合側は、この歴史的な条件を八不返すべく、戦い準備を整へ、果敢もつて、警察部長、特選課長、小作官を調停のため、同年五月本訴訴訟を破つて、

- 一、四年度は二割五分、
- 一、五年度は五割を減免することに、(但し三ヶ年賦とす)
- 一、六年度は三割を減免することに条件を解決し、

六年度分及び四、五年割払い金を支払ひ、昭和七年度小作料五割——六割派の要求も提出した(充分なる交渉戦はなされたが、事は批判されるべきだ)日高の同本からの正当なる要求を——シドドリ、それにより、昭和三年から五月にかけて一回の争議で、約四十三町歩にわたる立派な運動と協力の手に果敢的に決行した、この果敢な憤慨は、本頁支那員は、時々子供も動員して四月二十六日、「百姓ころしの立派なやめよう」と糾弾に交渉して、当時、血迷つるXXX署は附近の警官を総動員し、力津貞二郎君を初め五十余名の支那員も検挙し、遂に前井庄次君を初め七名の同本は暴力的な暴法違反として検挙刑罰された。

果敢では、これより、書記長後藤勲、給本部から杉山委員長、塔田青年部長、関東から内田書記が相前後して日高に参行し、廿八日(四月)には日高地区臨時大会を開き、大衆の圧力に依つて断乎戦い抜く事を決断し、実行しようとする、その間、青年部、婦人部の総会は数度、交渉に用かれ、争議への積極的な参加、応援者が決然と、争議の先頭への